

2020年度(対象年度:2019年度)ピアレビュー報告書(案)

評価対象組織	応用生物学研究科
--------	----------

基準1	理念・目的
-----	-------

総評
0101 大学の基本理念・使命・教育目的を踏まえ、研究科の教育研究上の目的や育成する人間像が明確に設定されており、関連性も認められる。[0101a][0101b][0101c] 0102 研究科の教育上の目的は、刊行物やホームページ等で構成員に周知され、また社会に対して公表されており、記述は概ね同じ内容となっている。[0101b][0102a][0102b]
長所・特色
0101 大学の基本理念を前提に、研究科で扱う3つの領域について育成すべき人間像が明確に示されている。[0101a][0101b] 0102 卒業生の講演から建学の精神が浸透していることが確認され、研究科の教育に確証が得られている。[0102e]
留意点
*各項目に留意点レベルを記入 【A】・・・緊急の改善を要する事項 【B】・・・検討を要する事項
特になし。

根拠資料 No.		ピアレビュー受審時に追加された根拠資料の名称	提出区分
項目 No.	記号		

提出区分 … ○ : 本シートと一緒に提出する資料 △ : 現部署で保管

2020年度 (対象年度: 2019年度) ピアレビュー報告書 (案)

評価対象組織	応用生物学研究科
--------	----------

基準2	内部質保証
-----	-------

総評
0203 全学的課題として内部質保証が求められる中、研究科内における内部質保証システムを有効なものとするため年間スケジュールを設定し、それに基づいて実践する体制が整えられている。[0203e]
長所・特色
0203 内部質保証システムについて、定められた年間スケジュールに従って実践する体制が整えられており、現在履行中である。[0203e]
留意点 *各項目に留意点レベルを記入
【A】・・・緊急の改善を要する事項 【B】・・・検討を要する事項
0203 内部質保証システムにおける年間スケジュールの遂行は、はじめての試みであり、スケジュール通り実践できるか注意深く見守る必要がある。【B】

根拠資料 No.		ピアレビュー受審時に追加された根拠資料の名称	提出区分
項目 No.	記号		

提出区分 … ○ : 本シートと一緒に提出する資料 △ : 現部署で保管

ピアレビュー委員会 (第3部会)

2020年度 (対象年度: 2019年度) ピアレビュー報告書 (案)

評価対象組織	応用生物学研究科
--------	----------

基準 4	教育課程・学習成果 (1)
------	---------------

総評
<p>0401 研究科教務委員会で検討した学位授与の方針 (DP)・教育課程の編成・実施方針 (CP)について、主任会および研究科委員会で審議、確認したうえで、ホームページや学生便覧で公表している [0401a] [0401b]</p> <p>0402 教育課程の編成・実施方針 (CP)に基づいた授業科目が開設されている。</p> <p>0403 大学院教務委員会を開催し、授業科目の開設や学習効果について検討がなされている。大学院中間発表会の発表形式に工夫がみられる。[0403a] [0403b] [0403d]</p>
長所・特色
<p>0403 中間発表会のポスター会場をサイエンスカフェ風にするなど、学生の主体性を高める工夫がみられる。</p>
留意点
<p>*各項に留意点レベルを記入</p> <p style="text-align: right;">【A】・・・緊急の改善を要する事項</p> <p style="text-align: right;">【B】・・・検討を要する事項</p>
<p>0401 DP、CPは大学ホームページで適切に公開されているが、自己点検・評価シートへの記載と根拠資料が示されていないため、情報を掲載することが望まれる。【B】</p>

根拠資料 No.		ピアレビュー受審時に追加された根拠資料の名称	提出区分
項目 No.	記号		
0401	a	3つのポリシー大学院応用生物学研究科応用生物学専攻 (博士前期・後期課程) https://www3.chubu.ac.jp/facts_figures/study/3policy/3p_graduate_biology/	○
0401	b	0401b 2020年度大学院学生便覧 p. ⑳-㉑	○

提出区分 … ○:本シートと一緒に提出する資料 △:現部署で保管

ピアレビュー委員会 (第3部会)

2020年度 (対象年度: 2019年度) ピアレビュー報告書 (案)

評価対象組織	応用生物学研究科
--------	----------

基準 4	教育課程・学習成果 (2)
------	---------------

総評
0404 大学院教務委員会委員を中心に学修効果の向上・成績評価等の教務事項について検証が行われ、適切に執行されている。[0405a] [0405b] [0405c]
長所・特色
0404 定期的に行われている大学院教務委員会を中心に、教務事項の自己点検が実施されている。
留意点 *各項に留意点レベルを記入 【A】・・・緊急の改善を要する事項 【B】・・・検討を要する事項
特になし。

根拠資料 No.		ピアレビュー受審時に追加された根拠資料の名称	提出区分
項目 No.	記号		

提出区分 … ○ : 本シートと一緒に提出する資料 △ : 現部署で保管

ピアレビュー委員会 (第3 部会)

2020 年度 (対象年度 : 2019 年度) ピアレビュー報告書 (案)

評価対象組織	応用生物学研究科
--------	----------

基準 4	教育課程・学習成果 (3)
------	---------------

総評
0406 0407 大学院中間発表会では評価シートを活用して評価を実施するなど、学修成績が適切に把握できる仕組みがつくられている。教育課程等の改善を目的にして、過去の活動実績に基づいた重点事業計画の策定がされている。 [0406a][0406b][0407a]
長所・特色
0406 年 2 回の大学院中間報告会が実施されるなど、学生の学修成果の把握に努めている。
留意点 *各項に留意点レベルを記入 【A】・・・緊急の改善を要する事項 【B】・・・検討を要する事項
特になし。

根拠資料 No.		ピアレビュー受審時に追加された根拠資料の名称	提出区分
項目 No.	記号		

提出区分 … ○ : 本シートと一緒に提出する資料 △ : 現部署で保管

ピアレビュー委員会 (第3部会)

2020 年度 (対象年度 : 2019 年度) ピアレビュー報告書 (案)

評価対象組織	応用生物学研究科
--------	----------

基準 5	学生の受け入れ
------	---------

総評	
0501	大学院入学者受入れの方針(AP)は、DP や CP と整合しており、適切に公開されている。 [0501a][0501b]
0502 0503	AP に基づいた入試選抜が実施されており、在籍学生数・収容定員の管理も妥当である。
0504	海外の学術協定校出身者の受け入れを公正に行うための工夫がされている。 [0504d]
長所・特色	
0502 0503 0504	海外の学術協定校出身者の受験を含め、公正かつ積極的な学生受入体制への取り組みが行われている。
留意点	
*各項に留意点レベルを記入	【A】・・・緊急の改善を要する事項 【B】・・・検討を要する事項
特になし。	

根拠資料 No.		ピアレビュー受審時に追加された根拠資料の名称	提出区分
項目 No.	記号		

提出区分 … ○ : 本シートと一緒に提出する資料 △ : 現部署で保管

ピアレビュー委員会 (第3部会)

2020 年度 (対象年度 : 2019 年度) ピアレビュー報告書 (案)

評価対象組織	応用生物学研究科
--------	----------

基準 6	教員・教員組織
------	---------

総評	
0602	教育研究活動を実施するのに十分な専任教員が配置されており、適正な配置が行われている。年齢構成バランスも取れており、女性教員の比率も高い。教員の大学院指導資格を明確にし、資格に応じた学生の配置と学位課程の配置を行なっている。[0602a][0602b][0602c]
0603	教員の募集・採用については、大学で定められた手続きに従って適切に進められている。なお、昇格に関しては、学部の規程が適用されている。[0603a]
0604 0605	全学の FD 委員会のもとに学部と合同の FD 委員会が設置され、組織的に FD 活動が実施されている。また、FD 活動の点検・評価も、学部と合同の WG により実施され、その報告書は研究科 FD 委員会を経て、全学の FD 委員会に提出されている。教員組織の適切性については、根拠資料に基づく定期的な自己点検・評価はされていない。[0604a]
長所・特色	
0602	博士課程における教員あたりの学生数は 2 名以下である。十分な教員数が確保されている。
0603	昇格に関しては、規程に基づいた手続きで実施されている。[0603a]
0604	組織的に FD 活動が実施されており、機能的に運用されている。[0604a]
留意点	
*各項に留意点レベルを記入	
	【A】・・・緊急の改善を要する事項
	【B】・・・検討を要する事項
0604 0605	教員組織の適切性についての定期的な自己点検・評価の実施体制の確立が望まれる。【B】

根拠資料 No.		ピアレビュー受審時に追加された根拠資料の名称	提出区分
項目 No.	記号		

提出区分 … ○ : 本シートと一緒に提出する資料 △ : 現部署で保管

ピアレビュー委員会 (第3 部会)

2020 年度 (対象年度 : 2019 年度) ピアレビュー報告書 (案)

評価対象組織	応用生物学研究科
--------	----------

基準 7	学生支援
------	------

総評	
0702 大学開学 50 周年の夢構想に基づき、大学院生を増やして研究力を向上し研究科のブランド力向上を目指して、修学、進路に関する学生支援体制を整備し、適切な学生支援活動を展開している。	
0702 2018 年度のピアレビュー報告書の留意点【B】「短期留学プログラムのさらなる推進が望まれる」を受け、マレーシア科学大学やベトナムのフエ農林大学への短期留学プログラムの構築を進めており、課題が改善されている。 [0702h]	
長所・特色	
0702 修学に関する支援体制では大学院生特別研究補佐員の制度や後継者育成事業の活用、年 2 回の大学院中間報告会を開催している。[0702f]進路・就活支援に関しては大学院修了生の講演会、キャリア支援課のチャレンジ就活への参加を促進している。その結果、本学大学院へ進学する学生が増えている。[0702g]	
0702 年に 2 回の大学院中間報告会に併せて、大学院を修了して社会で活躍する OB・OG による講演を実施し、学部生の進学意欲を高めるとともに、大学院生に対して大学院で学んだことがどのように社会で役に立つかなどの助言を頂いている。[0702f]	
留意点	
*各項に留意点レベルを記入	【A】・・・緊急の改善を要する事項 【B】・・・検討を要する事項
0702 博士後期課程に進学することが多い留学生を増やすため、海外連携の取り組みを継続することが望まれる。【B】	

根拠資料 No.		ピアレビュー受審時に追加された根拠資料の名称	提出区分
項目 No.	記号		

提出区分 … ○ : 本シートと一緒に提出する資料 △ : 現部署で保管

ピアレビュー委員会 (第3 部会)

2020 年度 (対象年度 : 2019 年度) ピアレビュー報告書 (案)

評価対象組織	応用生物学研究科
--------	----------

基準 8	教育研究等環境
------	---------

総評	
0802 0806 教育研究等環境整備については、学部等重点計画策定に関連する委員会と協議し、中期予算計画により年次ごとに整備計画を立案して整備している。大学院生の教育研究等環境の適切性についても定期的に自己点検・評価を行っており、改善・向上に向けた取り組みを行っている。[0802b][0802c]	
長所・特色	
0802 0806 スペースの有効活用を推進する WG の調査に基づき、大学院生の数の増加に対応した、大学院生室のスペースを拡大した。[0806a][0802e]	
留意点	
*各項に留意点レベルを記入	【A】・・・緊急の改善を要する事項 【B】・・・検討を要する事項
0802 0806 指導効率を改善するために、更なる大学院生室の配置の改善が望まれる。【B】	

根拠資料 No.		ピアレビュー受審時に追加された根拠資料の名称	提出区分
項目 No.	記号		

提出区分 … ○ : 本シートと一緒に提出する資料 △ : 現部署で保管

ピアレビュー委員会 (第 3 部会)

2020 年度 (対象年度 : 2019 年度) ピアレビュー報告書 (案)

評価対象組織	応用生物学研究科
--------	----------

基準 9	社会連携・社会貢献
------	-----------

総評	
0902	愛知県農業系 4 機関による研究交流会での大学院生の研究発表、国外 2 大学から博士前期課程への入学、多くの海外大学との研究等の交流を通して社会連携・社会貢献に取り組んでいる。ただ、これらの取り組みを客観的に評価、改善することはできていない。 [0902a] [0902b]
0902	応用生物学研究科では、社会連携・社会貢献に関する方針に基づき、社会連携・社会貢献に関する取り組みが実施されている。ただ、これらの取り組みを客観的に評価し、改善する試みはなされていない。 [0902a] [0902b]
長所・特色	
0902	科学技術振興機構主催の「さくらサイエンスプラン」に採択され、海外大学 8 校との交流を教員と大学院生とで対応した。 [0902c]
0902	積極的に海外大学と研究等の交流を行い、グローバル化と友好関係強化、科学技術発展に寄与している。 [0902b] [0902c]
留意点	
	*各項に留意点レベルを記入
	【A】・・・緊急の改善を要する事項
	【B】・・・検討を要する事項
0902	研究科教務委員会での各取り組みの客観的評価を行うことが望まれる。【B】

根拠資料 No.		ピアレビュー受審時に追加された根拠資料の名称	提出区分
項目 No.	記号		

提出区分 … ○ : 本シートと一緒に提出する資料 △ : 現部署で保管

ピアレビュー委員会 (第3部会)

2020 年度 (対象年度 : 2019 年度) ピアレビュー報告書 (案)

評価対象組織	応用生物学研究科
--------	----------

基準 11	大学独自の評価項目
-------	-----------

総評	
1120 研究科委員会は規程に基づき、議長の承認を受けて開催通知し、議事録は事務局で作成し議長の決裁を経て本部へ提出している。議事はあらかじめ同規程に位置づけられた主任会において、申し合わせに基づき事前協議を行っている。教員資格審査、教務事項、入試選抜、奨学金選考などの個別事項は、主任会及び主任会が設置する専門委員会及び主任会が承認する委員会で協議し、研究科委員会で承認する。[1120a][1120b][1120c][1120d]	
長所・特色	
1120 議事資料は投影により提供し、紙の節減を図っている。またあらかじめ構成員に議事資料をメール配信し、PC 等を持ち込み議場で議事資料を確認している。[1120a]	
留意点	
*各項に留意点レベルを記入	【A】・・・緊急の改善を要する事項 【B】・・・検討を要する事項
1120 主任会が承認する委員会の運営規程の整備が望まれる。【B】	

根拠資料 No.		ピアレビュー受審時に追加された根拠資料の名称	提出区分
項目 No.	記号		

提出区分 … ○ : 本シートと一緒に提出する資料 △ : 現部署で保管